



夢風

YUMEKAZE

第113号(平成30年度 No.11)



みなさん、夢風にようこそ。今年度の夢風は、今号が最終号となります。

第10回文化部総合フェスティバルは、3月26日（火）に豊田市民文化会館にて舞台・展示発表、翌27日（水）に豊田市コンサートホールにて定期演奏会が行われます（2日間とも入場無料）。本校文化部の日頃の活動成果を、ぜひ御覧ください。



「夢風」はWebページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



● 卒業証書授与式

総合学科10回生235名が豊田東高校からはばたいていきました。桑田校長の式辞では「『自制、扶助、寛容な心』を抱いて生きていきなさい。」と、これまで語り続けてきた言葉を最後にも繰り返されました。そして「校訓」敬愛“の精神を持ち、今後品格の高い大人へと成長し、自分に誇りを持って威風堂々と自らの人生を歩むことを期待しています。」と結びました。送辞は2年生の木岡佑征君が務め、卒業生から学んだ一

生懸命に努力する素晴らしい、仲間を信じることの大切さを忘れず、最善を尽くしていく決意を述べました。答辞を務めたバリオスアリアナさんは「豊田東高校に入学し、さまざまなプランのおかげで多くの刺激を受けることができました。その中で最も私が学んだことは、『自分らしさ』を大事にすること。個性を否定するのではなく、受け入れて、互いに助け合うことの大切さを学ぶことができました。」と涙ながらに述べました。そして最

後に思い
入れのあ
る曲のフレーズを熱唱し、答辞としました。

最後は、豊田東高校の伝統である校歌三部合唱で卒業式を締めくくりました。10回生は個性豊かで、お互いの存在がそれを刺激しあう集団でした。そして、一人一人が最後までやるべきことに取り組む集団でした。この豊田東高校で学んだことに誇りをもち、それぞれの舞台で大きくはばたいて欲しいと願っています。頑張れ10回生！



● 台湾観光貢献賞

この度、台湾交通部觀光局から台湾観光貢献賞をいただきました。台湾観光貢献賞とは、台湾の觀光振興に多大な貢献をした台湾内外の企業・団体、個人を対象に台湾政府から贈られる賞です。本校は平成29年度から国際理解教育の一環として台湾修学旅行を実施しており、事前学習で台湾への理解を深める取組をしていることなどが受賞に結びつきました。2月18日（月）に台湾の高雄市世貿展覧館にて授与式が行われ、第3学年川本主任（写真右端）が交通部長（日本では大臣に相当）からトロフィーを受け取りました。台湾修学旅行を実施してまだ2年目ですが、充実した活動が評価されました。今後も台湾修学旅行が豊かな学びの機会になることを期待しています。



● プラン別説明会（1年）

1年生は、第2学年に進級するとプランに分かれての学習が始まります。3月4日（月）の「産業社会と人間」では、プラン別説明会を実施し、2・3年生の授業内容について説明を受けました。2年生に向け、春休みの間にどのような準備をしておくべきかといった、具体的な説明もありました。調理・栄養プランは、包丁の握り方を教わって実際に大根のいちょう切りに挑戦しました。4月からの実習に向け、家でも練習しておくようにとのことです。服飾プランは、買い物に出かけた際にお店で服の構成や縫製を確認し、どのように作るかを考えてみるようアドバイスをもらいました。どのプランも、4月からスムーズなスタートが切れるのではないかでしょうか。



● キャリアガイダンス（2年）

3月4日（月）の「総合的な学習の時間」では、卒業生を送り出したばかりの第3学年の先生方を講師として、「受験生・就活生としての振る舞いや心構え」「今取り組むべきこと」についてガイダンスを行いました。第3学年主任からは、学年全体に向けて、「『自分ができないことをできる生徒』が大勢いるのが東高の魅力であり、そういう相手から素直に刺激を受けること、そして相手の行動を敬うことで自分の現状を振り返ることができる。ぜひ応援される生徒になってほしい。」と、「刺激」と「リスペクト」をキーワードにしたお話をしました。その後、進路希望別に分かれ、進



学希望者は、さまざまなデータから、授業や日頃の生活といった「当たり前のことを当たり前にやる」「今から始める」ことの重要性を、就職希望者は「働く」という視点をもって社会を見て行動することの大切さを学びました。生徒たちは大きな刺激を受け、現状への危機感を抱くと同時に、進路実現に向けての意欲も高められたようです。これから1年間、「夢への現実」と向き合い、「夢の実現」への第一歩を堂々と踏み出して欲しいと思います。